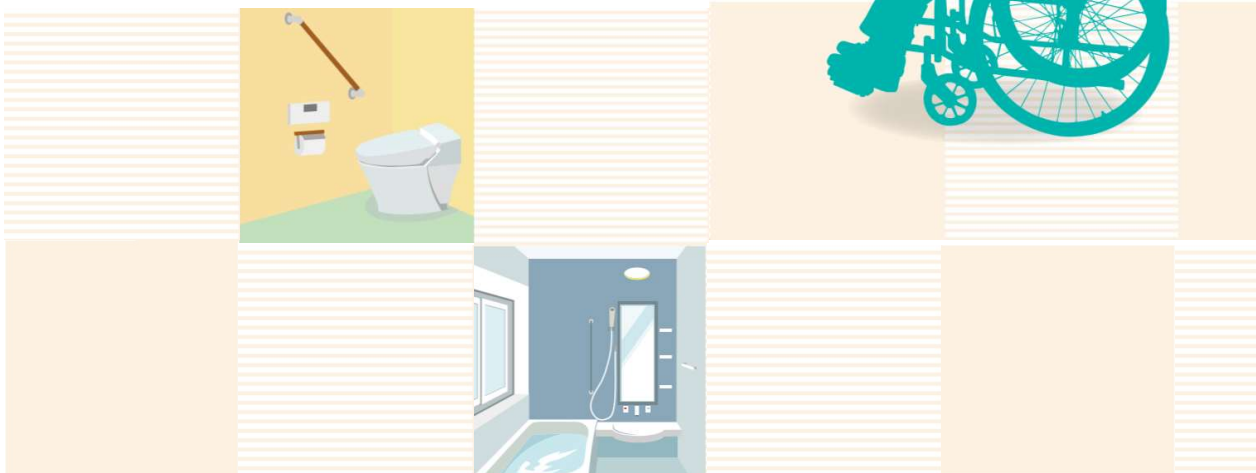


頸髄損傷者の 住まいの工夫

改定第2版



国立障害者リハビリテーションセンター

自立支援局 別府重度障害者センター

別府重度障害者センターでは、多くの頸髄損傷者の住環境整備に関わってきました。頸髄損傷者の日常生活動作（ADL）を「住まいの中で活かす」には、環境整備が不可欠となります。頸髄損傷者は動作方法や数センチ単位での設定が異なるだけで能力を発揮できなくなることが多く、一般的な改造や整備を行っただけでは使用できないことがあります。

当センターでは作業療法部門を中心に、本人・家族・業者を交えて住宅整備相談を行っていますが、建築の専門家であっても実際の頸髄損傷者の動作と住環境を照らし合わせて理解しなければ対応が難しいという実状があります。

ここに書かれている内容は、別府重度障害者センターが支援している動作訓練に合わせた環境整備を紹介していますが、他のリハビリテーション施設等での動作の獲得状況によっては、こうした改造内容を活かせないという問題が生じる場合もありますので、最終的には実際にご本人のリハビリテーションを担当されたリハビリテーション従事者等（作業療法士・理学療法士・医療工学技士など）の専門家からアドバイスを受けることが最善だと考えます。

本冊子を頸髄損傷者の住環境整備の一例の参考として活用していただき、多くの頸髄損傷者の地域生活の一層の充実が図られれば幸いです。

《もくじ》

1. 総論

- (1) 頸髄損傷とは 1
- (2) 頸髄損傷者(完全麻痺)の特徴 1
- (3) 完全麻痺と不全麻痺 1
- (4) Zancolli の上肢機能分類 2
- (5) 環境整備と生活動作 2

2. 機能別住環境整備例 3

3. 場所別整備例

- (1) アプローチ 4
 - ＜スロープ＞ 4
 - ＜段差解消機＞ 6
- (2) 玄関 7
- (3) 駐車場 10
- (4) 自室 11
- (5) 屋内移動 12
- (6) トイレ：排尿 13
- (7) トイレ：排便 14
 - ＜高床式トイレ＞ 14
 - ＜洋式トイレ＞ 18
 - ＜トイレチェア＞ 19
- (8) 浴室 20
 - ＜高床式浴室＞ 21
 - ＜ベンチ式(端座位)浴室＞ 24
 - ＜シャワーキャリー(自走式・介助式)＞ 24
- (9) 洗面所 26
- (10) 台所 27
- (11) 収納 27
- (12) その他 28

4. 福祉機器の活用

- (1) リフト 29
- (2) エレベーター(垂直リフト) 31
- (3) 階段昇降機(椅子式) 31

5. 住宅探しの視点

- (1) アパートなどの賃貸住宅探しの視点 32
- (2) マンション探しの視点 35
- (3) 中古住宅探しの視点 37
- (4) 土地探しの視点 38

6. 事例紹介

- (1) C6 レベルのトイレと浴室(新築) 39
- (2) C5 レベルのトイレと浴室(賃貸アパート) 41
- (3) C7 レベルのトイレと浴室(新築) 43
- (4) Th1 レベルの自室内に設置したトイレ環境(賃貸アパート) 44
- (5) C6 レベルのトイレと浴室、アプローチ(戸建て住宅改修) 45
- (6) C6 レベルのトイレと浴室(公営住宅) 47
- (7) C6 レベルのトイレと浴室、その他(マンション) 49

7. 参考文献 51